

医学部1年生が心肺蘇生処置を行い救命！ 消防総監より感謝状が贈呈されました



写真左から 木下学部長，季羽さん，羽尾学生担当



令和7年8月，季羽さんが新宿区内を通行中，心肺停止に陥り生命の危機に瀕した男性に遭遇しました。男性の同伴者の方がお一人であったこともあり，すぐに協力を申し出て、胸骨圧迫を交代したそうです。

季羽さんによると、「夏の休暇前に救命講習を受けたばかりであったし，授業でペットボトルCPRトレーニングについて習っていたこともあり，効果的な行動をとることができました。」とのこと。

居合わせた方がAEDを用意してくださったり，救急車を呼んだりしてくださったりしたそうで，周囲の方と連携しながら救急隊が来るまで胸骨圧迫を続けたそうです。

令和7年10月，彼女の迅速で的確な心肺蘇生措置により無事救命したとして，四谷消防署にて消防総監からの感謝状を贈呈されました。



感謝状贈呈を受け，木下学部長へ報告会を開催しました。

木下学部長から，季羽さんの勇気ある行動は大変誇りに思います，との言葉がありました。